



2017年4月1日 第831号

## 新たな学びの波紋が生まれる 聖和2号館新設

この春、西宮聖和キャンパス2号館が新設され、同キャンパス初のラーニングコモンズが誕生した。

新たなラーニングコモンズは「リブラ」と名付けられている。これは西宮聖和キャンパスの中心となる2号館のリブラにおいて、学生が「学び」とは何かを相互交流と実践の中で自主的に探究し、その成果が波紋を描く（ripple effect）ようにキャンパス内外へと広がることを願ったものだ。円を描く机の周りで仲間と集まり、交流の中でアイデアを練り上げ、それを実際にやってみる―この学びのサイクルがリブラのコンセプトとなる。

また、2号館内には教育学部に欠かせないミュージックラボ（ピアノ学習室）と多目的に利用できる演習教室も併設され、学びに多様性をもたらしている。さらに神戸三田キャンパスのアカデミックコモンズが行っているクレセントアワーを参考に、各種アクティビティが企画されている。これは教職員が各々用



気になるリブラの全貌

意したユニークな議題をもとに学生が議論を行い、学びのサイクルを活発化させることで、授業とは異なる広い学びを提供することを目的としている。

これまで西宮聖和キャンパスでは授業時間外の空き教室の使用が防犯上原則認められていないことから、学生が相互に学び合い意見を交わす場が少なかった。だが2号館の新設に伴い、COD（キャンパス創発開発機構）を通した学生側からの要望と先生たちの思いによってリブラが生まれることとなったのである。リブラの利用時間は授業実施期間中が8時50分から21時までとなっており、PCの貸



発行 関西学院大学新聞 総部  
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155  
関西学院大学新学生会館3F  
電話：(0798) 51-1181  
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp  
HP: http://kgpress2009.wixsite.com/kgpress2015  
Twitter: @kg\_shinbun

# 入学おめでとう! ～新入生への祝辞～

西宮聖和キャンパス初のラーニングコモンズを備え、今後新たな学びの拠点として注目されるリブラ。ここから生まれる学びの波紋が西宮聖和キャンパスだけでなく、関西学院大学全体へ広がることに期待したい。

### 扉の一言

虹は何色で構成されていますか？  
七色だと言われがちですが、僕はそうは思いません。どこで線を引くかです。自分勝手に線を引いて、見える物を見えなくしたら勿体無いです。

錦戸 亮



関西学院 院長  
田淵 結

関西学院大学にご入学のみなさん、ご入学おめでとうございます。七つのキャンパスに幼稚園から大学院まで、そしてインターナショナルスクールを擁する関西学院を代表してみなさんを心から歓迎いたします。みなさんは関西学院大学の学生であると同時に、この関西学院全体の大事なおひとりなのです。ですからできれば学生時代のうちに七つのキャンパスを体験していただきたい、関西学院の全体を知っていただきたいと思います。そしてそのどのキャンパスであっても、どの学校であっても、そこに過ごすひとりひとりと、「Mastery for Service」という同じスクールモットーのもとに過ごす同じ仲間であり、「We are Kwansell!」であることの実感を持っていただきたいのです。関西学院はみなさんが思っておられる以上に広がりのある学園なのです。どうぞ充実した、かつ意義深い学生生活を過ごされますよう、神様の祝福と励ましを心からお祈りいたします。



関西学院大学 学長  
村田 治

新入生の皆さん、関西学院大学へのご入学おめでとうございます。教職員、在学生を代表して心から歓迎いたします。現在、ICT技術の発達などによって世界が小さくなりグローバル化が急速に進んでいます。新入生の皆さんが社会に出て働く頃には、ほとんどの人が仕事の上で海外とのやり取りを行うようになるでしょう。そのためにも、英語の運用能力を高めることは勿論のこと、大学時代には海外に出て行ってほしいと思います。アメリカやヨーロッパの大学も、学生の留学を積極的に促進しています。その理由は、異なった文化や価値観に触れることにあります。言いかえれば、多様性への理解が求められています。関西学院大学は、2014年度に文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業に採択されました。その構想名は「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」というものです。その基本にあるのが、入学した学部での学びの他に、①海外留学等のインターナショナルプログラム、②他分野を学ぶ副専攻プログラム、③実践的な学びであるハンズオン・ラーニング・プログラムのいずれかに挑戦するダブルチャレンジ制度です。二つのことに同時に挑戦することによって、主体性が身につく多様性への理解も深まり、何よりも、未知へのチャレンジ精神が培われると考えます。初代学長C. J. L. ベーツ先生は、関西学院の建学の精神を「Mastery for Service」（奉仕のための練達）というスクール・モットーとして表現しました。自分の利益のためにだけでなく、世界人類のために自分を鍛えよと訴えられたのです。皆さんには、関西学院大学での学びにおいて、スクール・モットー「Mastery for Service」の意味を考えてほしいと思います。どうか、自分自身にチャレンジし自己を鍛え、世界に羽ばたいて世界人類の幸福に貢献するという「高志」を持ってほしいと心から願います。

### 関西学院大学 大学図書館長 田和 正孝



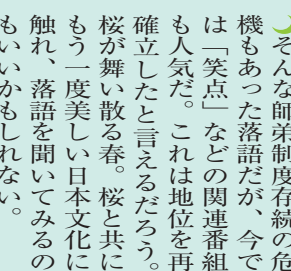
ご入学おめでとうございます。希望を胸に大学の門をたたいた皆さんは、それぞれの専門の立場から社会に存在する様々な課題を追究することになりました。そのためには多くの書物を渉猟し、資料を集めたりすることによって、研究を深める方法を身につける必要があります。インターネットでちょっとした検索をすることを「学び」や「研究」と考える態度は戒めなければなりません。本学の図書館は約200万冊の書物とたくさん本の映像・電子情報などを提供できるまさに宝の山です。皆さんの知識と心身をさらに鍛えるにふさわしい場所である、と私は考えています。課題レポートの作成や定期試験の勉強のためだけに図書館に足を運ぶような利用の仕方はもったいない、の一言に尽きます。書架の前に立ち、ずらりと並んだ書物の背文字をゆっくり眺めたり、新着の雑誌から興味深い論文や記事を見つけたりすることは、「大学で学ぶ」という豊かな時間を皆さんに約束するはずで、大学図書館に入り浸ることを意気にかけて、よきキャンパス生活を過ごされますよう、心からお祈りしています。

### 関西学院大学 応援団総部 第71代団長 小佐井 一貴



新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんの中には、学業面など様々な面で、不安に感じている方も多くいらっしゃるかもしれません。しかし、心配することはありません。校歌「空の翼」の歌詞中にもあるように、関学には輝く自由があふれております。勉学にひたすら励むもよし、海外に出て、これまでにない経験をするもよし、部活動に励むもよし、あげていけばきりがありません。皆さんは、大学生活でどの様なことに取り組みたいですか。大学生活は本当に一瞬です。皆さん自身で自分のなりたい姿やあるべき姿を考えてください。そして、皆さんが主体的になり、スクールモットーである「Mastery for Service」を体現し、充実した大学生活を送れることを祈っております。我々応援団総部は、そんな皆さんを全力で応援させていただきます。では、またお会いしましょう。

3代目桂米朝が2年前の3月19日にこの世を去った。現代、落語会が人気の桂ざこば・桂南光といった落語家はほとんど彼の弟子である。彼らは、落語界に古くから残る師弟制度の下で育った。江戸時代、落語は誰もが楽しめる大衆芸能の一つだった。近松門左衛門などの人形浄瑠璃と同じように誰もが気楽に足を運べ、楽しめる場を提供していた。当時から落語界には師弟制度というものが存在していた。この制度の起源は古く、西ヨーロッパにある。毎朝早くに師匠の家にいき家事全般を行うことが求められる。家事も落語修行の一環とみなされ、前座見習い、前座、二ツ目、真打と出世していく世界である。しかし、ダウンタウンを中心とする漫才ブーム以降、この制度の在り方は一変した。1982年に創設された吉本興業のNSC（吉本総合芸能学院）による影響が大きかった。漫才は落語とは異なり、師匠につき弟子となり学ぶことを必要としない。つまり、古くからの落語の師弟関係が崩れることが予想された。そんな師弟制度存続の危機もあった落語だが、今では「笑点」などの関連番組も人気だ。これは地位を再確立したと言えるだろう。桜が舞い散る春。桜と共にもう一度美しい日本文化に触れ、落語を聞いてみるのもいいかもしれない。



春の落語

●2,3面 KGニュース  
関月オムニバス公演  
「連載」追跡!! SGU  
●4,5面  
クラブ探訪記2017

●6面  
教授の背中  
お店探し隊  
●7面  
K.G. studio  
●8面  
新入生応援特集2017

# 喜劇と悲劇と感激を

## 演劇集団 関奈月 vol.20 短編オムニバス公演

2月17日から19日の3日間、神戸市灘区のイカロスの森にて演劇集団関奈月(3)の短編オムニバス公演「目と耳ト鼻の先」が公演された。本公演は二作の3小説のオムニバス形式という、関奈月史上初の試みであった。本来2月は引退生による卒業公演が行われる予定だったが、今期の引退生が公演を行わないということで、現役生による公演が行われた。

1幕目の「コンピニ日和!」は、先輩と後輩、そして強盗によるコンピニを舞台に繰り広げられるのこメディア作品だ。2幕目の「神の言葉」は、神にも等しい「言葉」の力を持つ少年による悲劇を描いたホラー作品である。そして3幕目の「ホワイトステップ」は、雪の日に起こった、母と娘の愛情溢れる奇跡の物語だ。



2幕目はクラシック音楽とともに終幕へ

今回の演出を担当した南谷剛さん(文・3)は「今回はかねてより好きな作品を舞台化させていただいた。1・3幕目は舞台化のしやすさで選び、2幕目は舞台向きではないが好きな作品なので舞台化を実現させた。今回は初のオムニバスということもあり、

リハーサルでは各幕で完成度に差が出たが、観客に最高の舞台を届けたい一心で稽古を重ね、最終的にいいものに仕上げることができた」と公演を振り返った。

関奈月は主に学外での公演を行い、総合芸術としての演劇を追求するため活動している。最近は常連も増え、公演の規模の拡大を考えるなど軌道に乗っている。2011年に創部以来、アットホームな雰囲気の中、代によって異なる。関奈月の次回公演は4月28日から30日で大阪のSPACE E9で行われる。彼らの入魂の演劇は必見である。

るカラー・ジャンルでの演劇を行ってきた。だが、そろそろ手探り状態から自分たちの得意なジャンルが見えてくる頃だ。また、殺陣など新しいジャンルに挑戦しようとしている者もいる。部としての体制を整え土台とし、先輩たちへ何を継ぐことができるのか考えなくてはならないと部長の日野碧さん(文・3)は今後の抱負を語った。

日野さんは「大小関わらず何かをやりたい、作りたいと考えている人は是非関奈月に来て欲しい。演劇の経験の有無は問わない。未経験者が入ること、むしろ新しい刺激を受けることができる」と新入生へとメッセージも送った。

関奈月の次回公演は4月28日から30日で大阪のSPACE E9で行われる。彼らの入魂の演劇は必見である。

# 伝統と歴史を繋ぐ

## 文化総部マンドリンクラブ創部100周年

文化総部マンドリンクラブは1917年に創立され今年で100周年を迎える。

それを記念し、5月20日、「関西学院大学マンドリンクラブ創部100周年記念演奏会」が伊丹市文化会館いたみホールで行われる。

この演奏会には、19名の現役生のほかに、約80名の卒業生も加わる。現在、月に2回のペースで行われている合同練習には、20代の人から80代



合同練習の様子

までの幅広い年代の卒業生が参加している。今回の演奏会は3部構成と

なっている。I部は2回生から4回生の全員が出演する現役生ステージ、卒業生が出演するII部の卒業生ステージ、そしてIII部は現役生と卒業生が一緒に出演する合同ステージだ。中でも見どころは、II部で演奏される「マンドリンオーケストラとソプラノのためのバラード」「ナイチンゲールとバラ」と、III部で演奏される「マンドリンオーケストラのためのシンフォニエッタ第6番「土偶」」である。この2曲は30年前まで指導を行っていた大栗裕先生が本学マンドリンクラブのために作曲した。演奏に参加する卒業生の中には大栗先生に直接指

導を受けた人もいるそうだ。特にIII部の現役生、卒業生の合計約100名によるステージは必見だ。

マンドリンクラブの部長の岸歩実さん(法・3)は「このプログラム構成は関西学院大学マンドリンクラブにしかできないものです。100年の伝統と歴史を感じてもらえるステージにしていきます。入場は無料なので気軽に見に来てください」と語った。

マンドリンクラブでは、今回の演奏会を開催すると同時に100周年誌を作成している。創部してから今日までの演奏会の記録を掲載し、今年の秋ごろを目途に完成の予定だ。

# 続く復興への歩み

## 第4回熊本地震現地ボランティア活動

2月24日から28日まで熊本県益城町にて、第4回ボランティア活動が行われた。昨年7月から続いているこの活動は、今回木山仮設住宅地を含めた計3カ所を実施された。今回の参加応募者は定員の約3倍の59人、最終参加者は23人だった。



コーディネーターのポーズをとる学生たち

今回は事前に現地調査を行い、それを元に参加者自身で活動内容を決めるといふ、より学生の自主性を尊重した活動になった。恒例の足湯を通じたの現地の方々と交流は、冬で足が出しにくいということとで今回はハンドアロマへ変更となった。他にも、参加者一同による街歩きを行い、各々が気付いた点を現地の方と話し合うといった、共に復興へと歩む姿も見られた。

今年度4回の現地活動を行ったが、関奈月による活動は現地の方々から高評価を受けている。4月には熊本地震から1年が経つ。その時期に合わせた報告会や、次の5・6月に実施予定の活動の告知をしたい」とヒューマン・サービス支援室の成安有希さんは今後の動きを語った。

また、支援室には学生によるボランティア活動の普及と活性化を目指す、学生コーディネーターがいる。ボランティア活動情報を収集し、ボランティアを志す学生を導くのが主な活動だ。他にも、ボランティア活動や支援室の認知度向上のため、ボランティアWeekなどのイベントを行うなどその活動は多岐にわたる。学生コーディネーター副代表の南條早紀さん(法・3)は「私は新しいことを始めたいと考え、たまたま学生コーディネーターになった。今は裏方としてボランティアを行いたい人を支えられるこの活動に誇りを感じている」と振り返る。また、学生コーディネーター代表の窪田風子さん(人福・3)は「今年のスローガンは『せや、支援室行こか』です。ボランティアに対して学生がハードルを感じずもっと気軽に来られるように、ボランティア活動といえば支援室と言われるように認知度を高め、身近な存在になりたい」と熱く語った。

# 新聞総部新入部員募集中

Twitter: @kg\_shinbun 取材情報更新中! DM・リプ対応しています

Facebook: 「関西学院大学新聞総部」で検索 毎週部員コラム更新中!

HP: http://kgpress2009.wix.com/kgpress2015 バックナンバー掲載中!

ア団体が集合し、直接話を聞ける一大イベントである。ボランティアに興味がある方は是非足を運ぼう。

# KENKETSU IN KG

## 春の献血週間

4月17日(月)~4月21日(金)  
@上ヶ原キャンパス

宗教総部 献血実行委員会

# 論説 日進月歩 『紛争を減らすには』

人類が生きている以上、争いをなくすことは不可能である。人類の歴史は戦いの歴史であるといっても過言ではない。強い者がその地位と権力を確立してきた。近代に入ってから人類は、第一次・第二次世界大戦という、大規模で凄惨な紛争を経験した。そして、同じ過ちを繰り返すべきではない、紛争を解決する国際的な組織が必要だとの思いから、国際連合(国連)が設立された。

国連は、国家間で紛争が起きると、それを終わらせるため、幾度となく当事者間の対話を促してきた。しかし、両者は深く対立しているため、同じテーブルにつくことさえ困難な場合が多い。さらに、当事者間の顔合わせが実現したとしても、その後の対話によって紛争を解決することは非常に困難だ。お互いが主張を譲らないことが多いからである。

後、同国政府の財政難による軍や警察の整備の遅れなども影響し、反政府勢力タリバンが支配地域を広げテロを繰り返すなど、治安が悪化している。国連は、国内紛争の当事者に対して対話を促してきた。しかし、対立する勢力が和解に達することはやはり困難である。さらに「国」という組織ではない武装集団は、国連の決定に従わず、和解を期待できないことから対話にさえ呼ばれないこともある。交渉が決裂した場合、国ではない組織に対しては、経済制裁とは違った対応がなされることになる。例としては、空爆のような直接的な攻撃や、その組織と敵対する勢力を支援するといった間接的な攻撃があげられる。

しかし、これらの対応は本当に正しいのだろうか。紛争当事国に対する経済制裁に関しては、ある程度は効果があるだろう。だが、紛争当事国の周辺にはその国を支援する国が存在することが多く、経済制裁も完全には意味を成さない。また、空爆を行えば必ず民間人に死傷者が出てしまう。いくら綿密な計画を立てても、誤爆は起きてしまうのだ。それは、武装組織の立場から見ても、民間人の立場から見ても、憎しみが増大するだけであり、新たな争いを生むことにもつながる。また、敵対する勢力を支援することに関しては、その勢力が国で用いられるのかも分からない。その組織が敗走した場合、提

供した武器が別の武装組織に奪取されることもある。それは、時には倒したい相手を支援することにもなってしまう。では、紛争の本質的な解決には何か必要か。それは「経済的支援」と「教育」である。経済的支援には、我々が身近に行うことができる募金活動から、国による大規模な援助まで様々な方法がある。それによって、人々の生活水準を向上させ、貧困から武装組織に参加するといった負の連鎖を断ち切るのだ。実際にISは、若者の貧困に付け込み「組織に入れば高額な給料が保証される」といったうたい文句を使って勧誘している。また、十分な教育を実施し人々の倫理観を養うことで、自ら進んで武装組織に入る人の数を抑制することができ

る。教育を受けていないために、武装組織に勧誘されそのまま入ってしまう者は一定数いる。そうした人々を止めることができるのだ。これら2つのことは、国や組織に対してではなく、一人ひとりに対して行わなければならない。たしかに、紛争中の国ではそれは非常に困難である。また、教育の効果が社会にあらわれるのはかなりの時間を要する。しかし、これらは確実に「良い国」を形作る要素である。少しずつでも時間がかかっても、これら紛争当事国に取り入れられるようにするために、他国は協力してその環境を作り出していかなければならない。目先の事象に対応することも大切だが、数十年先を見据え

必要単位には、国連ユースボランティアや国際社会貢献活動、それらの活動に必要な事柄を学ぶものがある。さらに各学部が開講する、国際関係や人権、宗教、国際法など、国際公共の分野で活躍するリーダーになるために必要不可欠な知識を得る科目も選択必修科目とされている。また、必修科目には大学院「国連・外交コース」と共通で開講される「Career Seminar for International Organizations」が指定されている。この科目は、国連児童基金(UNICEF)・カザフスタン代表を務めた久木田純招聘客員教授などの国連・外交の第一線で活躍してきた実務家教員が担当する。大学院「国連・外交コース」の授業は全て英語で行われる。そのためこの科目に関しては学部生も英語の授業を受けることになる。学部生の段階から非常に高いレベルの授業を受講することで、将来のキャリアに対するモチベーション向上にも繋がる。

## 追跡!! SGU 第13回

「国連・国際機関へのゲートウェイ構想」実現へ  
MS特別プログラム「国連・外交プログラム」、大学院「国連・外交コース」始動



まず、MS特別プログラム「国連・外交プログラム」についてだ。これは将来、国連・国際機関職員や外交官を目指す学部生に対して提供されるプログラムである。従来のMSプログラム同様、所属学部の授業に加えて「国連・外交プログラム」の必要単位、32単位を修得することで修了を認められる。これらの対応をすることはさらに重要である。そうすれば、紛争を減らすことができる。誰も

必要単位には、国連ユースボランティアや国際社会貢献活動、それらの活動に必要な事柄を学ぶものがある。さらに各学部が開講する、国際関係や人権、宗教、国際法など、国際公共の分野で活躍するリーダーになるために必要不可欠な知識を得る科目も選択必修科目とされている。また、必修科目には大学院「国連・外交コース」と共通で開講される「Career Seminar for International Organizations」が指定されている。この科目は、国連児童基金(UNICEF)・カザフスタン代表を務めた久木田純招聘客員教授などの国連・外交の第一線で活躍してきた実務家教員が担当する。大学院「国連・外交コース」の授業は全て英語で行われる。そのためこの科目に関しては学部生も英語の授業を受けることになる。学部生の段階から非常に高いレベルの授業を受講することで、将来のキャリアに対するモチベーション向上にも繋がる。

学部生に提供されるこのプログラムだが、履修できるのは2017年度以降の入学学生であることに注意したい。また、定員は20人となっており少数精鋭となる。1年次秋学期から申し込みが開始され、選考を経て2年次春学期からプログラムが開始される。4月6日のキャンパスライフABCで説明会が開催される。国連や外交に興味のある2017年度の入学生には参加することをすすめる。説明会はこれ以外にも随時開催予定であるので、国連・外

交統括センターの情報を確認してほしい。2017年度以前の入学学生に対しては、先ほども紹介した久木田純招聘客員教授を中心とした実務家によるキャリア・カウンティングやキャリア・コーチングも随時ホームページから受け付けている。早い時期から大学院や、自らのキャリアについて考えるきっかけが提供されている。次に大学院「国連・外交コース」についてだ。これまでこのシリーズでお伝えしてきたように、国連・国際機関職員になるには一般的に修士以上の高い専門性と、実務経験が必要である。そのためこのコースを履修する学生は、各所属研究科での学位取得と同時に「国連・外交コース」に定められている23単位を修得する。学内外の大学生、さらには本学の卒業生である社会人などから応募があった。また、このコースの科目は経営戦略研究科(MBA)などの研究科からも個別に履修が可能になっている。経営戦略研究科は留学生が非常に多いため、授業が多様性、国際性豊かなものになると予想されている。昨年2月に本学主催による日本の国連加盟60周年記念のトークセッションが行われた。そこでスピーチした岸田文雄外務大臣は、現在800人の日本人国際機関職員を2025年に1000人に増やすという国の方針を述べた。本学出身の国連・国際機関の現役職員は2桁を超えている。これは800人の日本人が国連・国際機関で働いて

いるということから考えると誇れる数字であるのだ。このゲートウェイ創設を機に、世界を股にかけ活躍する人がさらに増える未来は、そう遠くはない。

国連・国際機関職員や外交官というのはご存知の通り、狭き門でありそれ相応の準備が必要である。未来に向けて大学院以前から準備をしていこうという構想もなされている。元国連事務次官の明石康招聘客員教授が塾長の日程で西宮上ヶ原キャンパスと千刈キャンパスで全国のSGH(スーパーグローバルハイスクール)の生徒を対象とした「関西学院世界市民明石塾」が開催された。ここでは現役の国連職員とのセッションや、英語による講義などが行われた。参加した高校生からは「同じ世代にこれ程レベルの高い学生がいることに驚いた」とも、刺激にもなった」という感想が寄せられたそう。このイベントは形を少々変えるが今年も開催予定である。

思い描くキャリアの実現には長い道のりがあり、生半かな気持ちでは実現できない。強い動機づけや、努力を続けるモチベーションが必要である。高校・大学・大学院・卒業後と続くキャリアサポートは日本でも類を見ないものだ。これらのサポートを受け、より多くの人がキャリアを実現し、スクールモットーの「Master for Service」を体現した世界市民として活躍することを願う。

桜が美しく舞う4月。新たな出会いがあったり、新たな決意を胸に歩き始めた季節だ。大学に様々な希望を抱き入学してきた新生の皆さんへ送る関西学院大学新聞、春の恒例企画「クラブ探訪記」をどうぞご覧あれ。

# クラブ探訪記2017

## 応援団総部 チアリーダー部

BIGMAMA前のプラザで練習に励む姿や、入学式での応援団総部の応援などチアリーダー部の活動を目にする事は多い。一生懸命に活動するチアリーダー部の魅力と活動を紹介します。



応援団総部チアリーダー部は、本学の体育会の応援をする「応援活動」と、外部からの依頼を受けて演技を披露する「依頼活動」を主にしている。依頼活動は、結婚披露宴や小学校の夏祭り、企業のチアリーダー部との合同演技など多岐にわたる。また、7月には1年生から3年生が演技を披露する「Summer Festa」を行い、12月には1年間の集大成を発表する「Winter Festa」という単独公演を行っている。関同立のチアリーダー部としては唯一競技としてのチアリーディングは行っていない。ダンスやバレエ経験者が多いイメージがあるが、現在の部員26名中経験者は3、4人であり、未経験者も安心して入部できる環境である。

チアリーディングの魅力について、チアリーダー部長の水谷菜穂子さん(文・4)は「練習は厳しいですが、部員全員で作上げたものをス

テージで披露できたときにはとても達成感があります。また、応援の場合でも公演の場合でも会場の全ての人が笑顔になってくれます。人を元気にできる素敵なスポーツだと思います」と笑顔を見ながら語ってくれた。部の雰囲気については「4年生が中心となり練習していますが、下級生が積極的に盛り上げることも多く、練習に全力で取り組んでいます。練習以外の時間では先輩後輩が冗談を言い合えるような関係でオンオフがはつきりしています。今年からは縦割りのグループを作り縦の繋がりも強くしていこうという取り組みもしています。まだ始めたばかりでどんな結果になるかは分かりませんが部にとって良いものになればいいと思っています」と語る。

最後に新生に向けて、水谷さんは「4年間同じ目標に向かって高めあう仲間というのはなかなかできるものではないかもしれません。しかし、チアリーダー部ならそんな存在ができます。そして応援を通して、人の人生の節目やイベン

## 囲碁部



大学に入学して何か新しいことに挑戦してみたい人、自分の居場所が欲しい人にお勧めなのが囲碁部である。囲碁部には大会で上位に入ろうとする上級者から初心者までさまざまな棋力を持つ人が在籍している。大学に入ってから囲碁を始めたという人も多数いるため、今まで囲碁を

トに関わる事ができるのはとても嬉しい事です。チアリーダー部だからこそできることに魅力を感じた人はぜひ入部してください」とメッセージを送った。

4月25日にはBIGMAMA前プラザでチアリーダー部単独のデモンストレーションが行われる。また、4月中に応援団総部全体でもデモンストレーションが2回行われる。彼女たちの一生懸命な姿をぜひ見に行ってください。

新学生会館2階にある囲碁部の部室は授業のある日であればほとんど毎日開放している。全員が必ず参加しなければならぬ練習日は特に決められていないため、それぞれが自分のペースで活動している。授業やアルバイトが忙しい人、ほかの部活動やサークルと兼部している人も多数在籍しているため、大学生活でいろいろなることを経験してみたい人は大歓迎である。

■年間スケジュール■	
4月	入学式 春季応援
5月	鉄人広場イベント 「そんなあなたを応援します」総合関関戦
6月	Summer Festa
8月	合宿
9月	連盟祭 秋季応援
11月	総部祭
12月	Winter Festa
3月	体育会功労賞 卒業式

■基本情報■	
活動場所	BIGMAMA前プラザ 体育館
活動日時	17:00~20:30 (火・水・金曜) 12:45~13:10(木曜) 依頼活動・応援活動(土・日曜)
部員数	26人
連絡先	水谷菜穂子(経・3) 090-6909-3784 kg.cheer.dolphins@gmail.com



普段の活動では、部員同士で対局をしたり、互いに教えあったり、詰碁や棋譜を並べたりして実力を高めあっている。初心者であっても経験者が丁寧に指導してくれるため、やる気さえあれば部内リーグ戦を勝ち抜き、大会に出場できるまでに強くなる事が可能だ。さらに、不定

## ハーモニカソサイアティ

大学では新しく音楽を始めたいと思っている新生は多いことだろう。幸いなことに本学には、音楽にまつわる部やサークルが溢れている。ど

期ではあるが、プロ棋士の前田亮先生から直々に指導を受けることもできることも魅力だ。

部内の雰囲気はアットホームで、空きコマや昼休みには多くの部員で部室は賑わう。先輩、後輩の仲もよく、テスト後などに開催される打ち上げや夏休みの合宿にはほとんどの部員が参加して仲を深めている。合宿の行先は毎年様々で、昨年は城崎温泉を訪れた。

囲碁部に少しでも興味をもった人は一度囲碁部の部室に足を運んでみてはいかがだろうか。

■年間スケジュール■	
4月	新入生歓迎会
6月	関西春季リーグ
9月	関西囲碁部OB現役交流会 夏合宿
11月	秋季関西リーグ
12月	OB現役交流会

■基本情報■	
活動場所	新学生会館2階 囲碁部部室
活動日時	月~金曜日
部員数	30人
連絡先	鈴木雄大(経・3) a-t-g.littlethinks11s@docomo.ne.jp



の団体も様々な個性を持ち、それぞれが魅力にあふれている。だが、あらゆる部室へ顔を出し、あらゆる部活動から勧誘を受け、ひとつの部に絞ることができない方は多いのではないだろうか。そんなあなたをもっと悩ませる部をひとつご紹介しよう。文化総部ハーモニカソサイアティだ。ハーモニカソサイアティとは、その部の名の通り、ハーモニカが主役である。ただ、勘違いされやすいのがハーモニカ奏者じゃないと思われちゃう点である。実際には、ハーモニカだけでなくフルートやアコーディオン、マリンバ、ギター、ベース、ドラムなど、意外な楽器を合奏する。部は週3日間の活動の他に、コンサートを行う。主にコンサートとして、新入生歓迎コンサート、春コンサート、新月祭ライブ、そして集大成の定期演奏会がある。合宿は春合宿、夏合宿の年2回を行う。授業の空き時間に練習場へ集まる部員も多いという。



音楽初心者の方も大歓迎という。部室のドアを気軽にノックしてみるとよいだろう。優しい先輩がきっと良い大学生活へ導いてくれるはず。

■年間スケジュール■	
4月	ライブ
5月	新歓コンサート
6月	春コン練習期間
8月	つなぎ休み
9月	夏合宿
11月	夏合宿
12月	新月祭ライブ
1月	定期演奏会
3月	冬休み

■基本情報■	
活動場所	音楽練習場9
活動日時	月・水・金曜放課後
連絡先	笹川美穂(文・4) sasagawa31415@gmail.com

# 関西学院室内管弦楽団 バロックアンサンブル

大学生生活を音楽に捧げた。そんな人にお勧めしたいのが関西学院室内管弦楽団バロックアンサンブルだ。バロックアンサンブルは、管楽器と弦楽器を使用し、少人数で宗教音楽や讃美歌などを演奏している部である。バロックアンサンブルと聞くと、イメージが湧かない人もいるかもしれないが「アメイジング・グレイス」といった、皆さんもよく知っている曲もたくさん演奏している。



そんなバロックアンサンブルの主な活動は、各学部のチャペルでの演奏と、年3回行われるコンサートだ。チャペルでの演奏は、各学期に、西宮上ヶ原・神戸三田キャンパスすべての学部で、1度ずつ行われる。皆さんも自分の学部に来たときにはぜひ

■基本情報■

活動場所 吉岡記念館 2階 研修室  
活動日時 月・水・金 18:30~21:00  
(コンサート1ヶ月前は  
土曜日の9:50~13:00も)  
夏休み・春休み  
月・水・金 9:50~13:00

部員数 9人  
連絡先 高橋弥生(文・3)  
ymh3153132157@gmail.com

■年間スケジュール■

4月 新歓  
5月 ヌーンコンサート  
8月 夏休み練習開始  
9月 合宿  
11月 新月祭コンサート  
12月 クリスマスコンサート  
3月 春休み練習開始



(社・3)は、「アットホームで先輩・後輩の仲が良く、やるときはやる部。少人数だがそこも魅力」と語る。また「少人数だからこそ、距離感が近い」とも語っている。練習も多く大変なこともある。

# 煎茶道部



和のおもてなしの心を味わうひとときを過ごし、自分を磨きたいと思っているあなたにぴったりの煎茶道部だ。「煎茶道」という言葉には聞きなじみのない人が多いのではないだろうか。「煎茶道」は、一般的な茶道が茶葉を挽いた抹茶を立てるのに対し、茶葉を炒ってそれにお湯を注ぐいわゆる緑茶を立てる。また、違いはそれだけではなく、お点前と呼ばれる、茶道における所作も違う。これは、煎茶道の中でも流派によって異なるが、本学煎茶道部は小笠原流という流派のお稽古を行っている。小笠原流は煎茶道の流派の中でも比較的華やかな流派で、茶会において季節の花を模した色とりどりのお茶菓子を使ったり、香を焚

たけど、その分時間の使い方がとてもうまくいったと思う。振り返ってみたら充実していたし、何より楽しく音楽ができた」と入部してよかったという思いを熱く語る。

讃美歌の演奏、チャペルでの演奏を行うバロックアンサンブルは、まさに「本学らしい」部である。弦楽器は初心者も募集しているそうだ。部員の中には経験者も在籍しており、サポート体制は整っているという。皆さんもぜひ、彼らが活動している吉岡記念館に足を運んでほしい。温かい音楽であなたを迎え入れてくれることだろう。

活動内容は年に4回の茶会と練習だけではない。夏には合宿も行われる。合宿の日程は2日間。1日目はお茶摘みに行ったり、手作り茶会に向けて道具を手作りしたりと煎茶道や部の行事に関わること



■年間スケジュール■

4月 新歓イベント  
5月 お茶会  
夏休み 合宿  
11月 新月祭出店  
12月 手作り茶会  
2月 春風の宴煎茶会(卒業茶会)

■基本情報■

活動場所 エピータの森  
(阪急西宮北口駅すぐ)  
新学生会館和室

活動日時 金曜日、水曜日

部員数 20人

連絡先 赤堀瑠成(経・3)  
ryusei37564@ezweb.ne.jp



活動は本学の学生会館の和室や部室を利用しての練習や自主練に加えて、月に3回ほど阪急西宮北口駅の近くにある「エピータの森」で小笠原流の次期家元の方からの直接指導も受けられる。

年に4回ほどの茶会を開催するが、その中でも最も部の色が出るのが12月に開催される「手作り茶会」だ。この茶会は名前の通り、茶会で使われる道具のほとんどが部員の手によって作られる。右下の写真の左に見える急須を入れておく茶棚もホームセンターで木の板を買ってくるところから自分たちで行うというのであるから驚きだ。

活動内容は年に4回の茶会と練習だけではない。夏には合宿も行われる。合宿の日程は2日間。1日目はお茶摘みに行ったり、手作り茶会に向けて道具を手作りしたりと煎茶道や部の行事に関わること

■基本情報■

活動場所 新学生会館3階  
活動日時 金曜日(19:00~)  
長期休みは11:00~

部員数 14人

連絡先 Twitter kg\_shinbun  
Mail kgpress2009@yahoo.co.jp



文章を書くことが好き、人と話すことが好き、自分の視野を広げたい。そんな人にぜひ足を運んでもらいたいのが新聞総部だ。

新聞総部は、2か月に1度、主に学内に向けて「関西学院大学新聞」を約3000、8000部発行している。新聞には、学内のニュースや教授・OBへのインタビューはもちろん、本学で活躍する学生の紹介や、部員オススメのお店の紹介、イルミネーション特集、や、学部あるあるのような特集面など、幅広い情報を掲載している。新聞という堅いイメージを打ち破り、学生に親しまれる紙面を目指して、日々取材活動

# 新聞総部

■年間スケジュール■

4月 新入生歓迎会  
5月 上半期総会  
9月 合宿  
11月 新聞タテの会総会(OB・OG会)  
12月 下半期総会

や執筆活動に励んでいる。全体的な活動は毎週金曜日の放課後、新学生会館3階の部室にて行っており、主に新聞発行に向けた話し合いや準備をしている。アットホームな雰囲気、先輩・後輩関係なく意見を出し合うことができ、またメリハリもきちんとしているのが新聞総部の特徴である。会議では各々が記事になりそうなニュースネタを持ち寄り、その中から取材先を決定する。そして、取材先に連絡を取りインタビューするところから、記事の執筆や校正、紙面のレイアウトを作成するところまで、すべて自分たちで行う。また、出来上がった新聞を学内に設置、手渡して読者のもとへ届けるのも部員の役目だ。これらをこなしていく中で、取材相手に対するマナーや言葉遣い、時間や記事の締め切りを守るなど、記者としての知識だけでなく社会に出たときに大切なことも自然と身に付く。新聞総部で学ぶことは結構多いのだ。

**FamilyMart**

関学生を応援しています! 関学店TEL(0798) 57-3631



名刺1枚で様々な人々に出会い、たくさんの考えや思いに触れることができる部は多くはないだろう。また、学生だけでなく、普段話す機会のない教授や職員の方々とも交流できるのは新聞総部の特権である。部員全員でひとつのものを作り上げる喜びと、自分の書いた記事を多くの人に読んでもらう感動を味わってみたい人は、一度新聞総部の部室をぜひのぞいてみてほしい。

『虹は何色で構成されていますか？七色と言われがちですが、僕はそうは思いません。どこで線を引くかで、自分勝手に線を引いて、見える物を見えなくしたら勿体無いです。』

錦戸 亮

あなたにとって、虹は何色で構成されているように見えるだろうか。日本人にとつては、赤・橙・黄・緑・青・藍・紫の七色という回答が一般的だろう。しかし、本当にそうだろうか。

色、沖繩では二色とみなされてきた。虹に対する解釈は実に様々である。関ジャニ∞のメンバーである錦戸亮は、自身のブログの中でこう語る。「その貴方、虹は何色で構成されていますか？七色と言われがちですが、僕はそうは思いません。どこで線を引くかで、見える物を見えなくしたら勿体無いです。目を凝らして見れば、

無数の発見があると思います。彼がこのブログを書いたのは、2006年の7月。関ジャニ∞としてデビューしてまだ2年弱のころである。関ジャニ∞としても、錦戸亮個人としてもまだまだこれからというこの時期に、自分の可能性を自分で決めてしまわないように、この言葉が出てきたのかもしれない。皆さんは、自分の可能性に自分で線を引いてしまつては

いないだろうか。見える物を見えなくしてしまつてはいないだろうか。大学生生活の4年間は自由である。使えるお金、時間が今までよりも格段に増え、自分のやりたいことがたくさんできる。この4年間は、自分が気付かなかった、思いもしなかったような自分の可能性に巡り合えるチャンスなのだ。

桜が舞い、心機一転するこの季節に、皆さんも何か新しいことに挑戦してみたいか、がだるうか。まっすぐに自分と向き合い、「目を凝らして見れば、無数の発見がある」に違いない。恐れることはない。どんどんチャレンジしていこう。私たちはまだ、若い

おすすめのお店探し隊！ vol.11. 「カラオケルーム パーティマン」



多くの飲食店に囲まれたビルの二階、光る「PARTY MAN」の文字が目立つ。店長の福崎さんは「このビルはカラオケに向いているからここでカラオケを作った」と語る。確かに飲み会の二次会としてカラオケも鉄板だろう。店に入ると、決して広くはない空間ではあるが、暖かな雰囲気だ。温い黄色のライト

に照らされ、ポスターが壁の至るところに貼られている。正面のカウンターの上に、小学生以下の子どもにワンドリンクサービスのメッセージが見られる。気さくな店員の接客で常連の客も多いだろう。スタッフの清水さんもその人情の厚さと関係築きやすさに共感し、ここでアルバイトしようと決めたそうだ。

このカラオケの料金の安さはその人気の一つだ。平日の昼に行くと、30分の料金はたったの100円で、大学生にとっても向いている。さらに、午後3時までの入室でフリータイムを注文すると、学生割引を含めて1000円にしかならない。

11号室(DAM)の2部屋がある。完全に隔離された状態になっているので、他人の歌声に邪魔されることなく友達と歌い放題ができる。もちろん声が漏れることに気になる人にもおすすめだ。

さらに、このパーティーマンのスタンブカードでスタンブを貯めると、ワンドリンク無料や、1時間の無料サービスがある。50スタンブ貯めると1000円分の金券がもらえる。

教授の心中

木本圭一

国際学部 教授



木本教授は、中部から大学院まで関西学院に通っていた。教員としての初任地こそ近畿大学の短期大学部だったが、その後はまた本学に戻ってきた。

中部の頃は中学校の、高等部の頃は高校の先生、大学生の頃は専門家になりたかったという木本教授。公認会計士を目指したが、一つの事柄について深く考えずしてしまふ自分の性格に気づき、試験を受けることは難しいと判断した。しかし、会計学自体は面白く、これを専門にするのが良いのではと考えた末、大学院に進学した。また、自分の発言によって人が成長する手助けをする役割を果たしたいという中等部・高等部のときの夢もあり、大学教員になった。

木本教授の研究内容は「会計概念フレームワーク」である。これは、各国における会計基準設定機関が会計基準を作る際に準拠する考え方について研究するものである。1990年代、各国で会計基準が違ふことが国際的な問題となった。そんな中、木本教授は、日本で誰も研究していなかったベトナムの会計について取り組んだ。しかし、ベトナムを含む各国の会計を国際的な基準に合わせ始めたため、教授の研究内容も各

学生の成長に焦点を当てた教育を

国会計論から国際会計概念フレームワーク論に変化してきた。「強制せず実践に任せるのが大事だ」と話す木本教授は、ゼミでは学生の自主性を非常に尊重している。「やっていることを、義務ではなく、自分を成長させる機会」と気づくことができた学生はほとんど伸びていく」と「大学は単なる知識の教授の場ではなく、それを通して人格を磨く場所である」と続ける。教員になりたての頃は、教育のノウハウが無いため、上手く教えることができないと悩んだという。強制的な面も多くあり、学生がついてこけないこともあった。しかし、卒業生が研究室を訪ねてきて「授業やゼミのこのような点が面白かった」という話を聞くうちに、次第に「学生の成長」に軸を置くようになった。今後は「いかに良い教育ができるか」という教育法にも重点を置きたいという。

Table with 2 columns: Year and Achievement. 1983年 関西学院大学商学部卒業, 1988年 関西学院大学大学院商学研究科博士課程後期課程単位取得満了退学, 1997年 近畿大学短期大学部商経科講師、同助教授を経て、関西学院大学商学部助教授, 2010年 関西学院大学国際学部教授

きもと けいいち

- ☆基本情報☆
・住所：兵庫県宝塚市小林 2丁目10-17 ストリート小林2階
・アクセス：阪急今津線小林駅より徒歩2分
・営業時間：14:00-2:00
・定休日：なし
・TEL：0797-71-6501



また、この店には別館がある。約20名収容可能な12号室(DAM)、約8名収容可能な



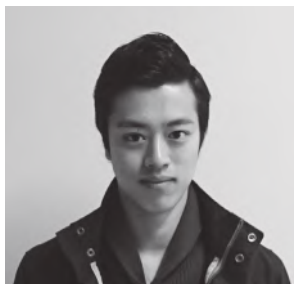
# K.G. studio

今回のK.G.studioは部室だよりとK.G. PEOPLEです。部室だよりでは混声合唱団エゴラドに、K.G. PEOPLEでは体育会スケート部(フィギュア部門)の渡邊純也さんに話を聞きました。

## K.G. PEOPLE

### #23. 体育会スケート部

#### 渡邊 純也さん (商・2)



今回は、昨年12月の全日本選手権に出場した体育会スケート部(フィギュア部門)の渡邊純也さん(商・2)に話を聞いた。

初出場を決めたのだ。そして来たる全日本選手権では、けがの影響などもあって最高のコンディションで臨むことができなかった。それでもテレビで放送されるまさに夢の舞台に出場したことで、今まではフィギュアスケートに対する向き合い方が変わった。「全日本に出る」という一つの目標を達成したと同時に、今までフィギュアスケートを続けてきてよかったとあらためて感じたのだ。

そんな昨年の大活躍の裏には何があったのだろうか。彼に聞いてみると「ジャンプが安定してきたことが大きい」という。今までジャンプはあまり得意ではなかったのだ

が、最近では3回転を中心に成功するようになってきた。つまり、苦手のジャンプを立て派な得点源に成長させたのだ。

また昨年3月まで掛け持ちしていたアイスダンスのペアを解消し、シングルに専念したことも大きかったようだ。姉の影響で5歳の時から本格的にフィギュアスケートを始めた彼は、恵まれた体格を活かして中学2年の時にアイスダンスを始めた。そして高校3年生でアイスダンスの日本代表に選ばれた。アイスダンスで身につけた豊かな表現力が彼の武器になったことは間違いないだろう。

### 混声合唱団エゴラド

部員数：64名  
 創部年：1954年  
 活動日：火曜日、木曜日 16時50分～19時  
 土曜日 10時～16時  
 長期休暇期間 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 10時～16時  
 部 室：新学生会館3階  
 連絡先：op\_s\_24@ezweb.ne.jp 中畑(法・3)  
 HP：http://kegoladohp.wixsite.com/egolado

## 部室だより vol.19 混声合唱団エゴラド



混声合唱団エゴラド部長の田村航平さん(社・3)にお話を伺いました。

田村さん(以下、新)：まず、活動内容を教えてください。田村さん(以下、田)：演奏会を年に2回、5月と12月に行っています。5月は合同演奏会、12月は単独演奏会です。また、6月には県主催の合唱祭へ参加し、10月には関西合唱コンクールに出場しています。現在は5月21日の合同演奏会に向けて練習をしています。

新：部員には大学入学をきっかけに合唱を始めた人が多いのですが、初心者でも始めやすいと思います。新：なるほど、自分の声が楽器になるということですね。部の雰囲気も教えてくださ

なことはあります。田：各学年に1人ずつ指揮者がいるのですが、それを決めるのが大変ですね。指揮者で学年や曲のカラーが明確に決まるので重要です。新：自分たちが指揮もするのですか。田：はい。曲決めに毎回頭を悩ませています。エゴラドはソプラノ・アルト・テノール・バスの4部合唱ですが、曲によっては4部が2つに分かれる8部合唱になることもあります。男子部員が少ないので選曲の幅が狭くなることもあります。もちろん難易度も考慮して決めていきますね。

新：自分たちで作っていきやすい要素が多いのでやりがいがあります。そうなんです。新入生に向けたメッセージはありますか。田：歌や音楽が好きだと時間や場所を共有でき、1人で歌うのとは違う楽しさを味わうことができるのが合唱の魅力だと思っています。4月は毎週木曜日に体験練習会を行います。ぜひ活動を見るだけでなく、合唱ならではの楽しさを味わいに来てほしいです。新：本日はお忙しい中ありがとうございました。



練習に励む部員

## 文芸部 読み切り小説

### 『ブレイクタイム』

岡望

跳ねたり踊ったりしているピアノを聞くと、ふとこれがオースカー・ターソン演奏だと気が付いた。初めて買った彼のベストアルバムに入っていた曲。当時は自分の部屋で、ラジカセを引き出して聞いていた覚えがある。

途中で気が付いたのは理由があった、まずここが一九八〇年代から生き残っているような喫茶店だということだ。喫茶店やレストランなんかのBGMなんて、暇でもなければ曲として聞くわけない。ただのカチャカチャ鳴っている騒音だ。それから、僕がその店のブレンドを飲み切ったまま水を粘るような、帰りたくない客だったからだ。

その証拠に店主が、早く帰ってくれなかと目で催促していた。いやなこった。家に帰って明日を迎えようと、また朝が来る。子供のときは夜は眠るためだけの時間だった。つまり、寝るまではずっと時間があるように感じていた。夜は明けな

いものだと認識していた。だが、それは当然幻想で深夜まで起されば朝は辛いし、あつという間に六時になってしまっている。「不眠症なんだ」声を出さずに言った。「明日があるのが分かるのに、ずっと時間を感じ続けたんだ」

時計は十時前を指している。流石に居続けるのが難しい時間になってしまった。店主が声をかけてきた。いかにも訝えないおっさんだ。

「もう時間」両手の人差し指を交差させる。「時間」それを遮るように「家はゴミだらけなんだ」と言った。店主が顔をしかめた。「捨てようとしたら、あいつが私から奪うのってヒステリーを起こすんだ」

僕は思いついたことを次々に言っていた。「積まれたゴミ袋を見るたびに思うんだ。捨てることも、見えないことにもできないって。毎朝、気分が滅入る」ここからどう話したのか考えていると、店主が店じまいをしなから、語りかけた。

「おふくろが俺の名前を忘れたとき、ここが限界なんだなって分かった。そこからは諦めがついたね。だって何も期待しなくてもいいんだから……」

「嘘だよ、嘘。いま作ったデタラメ。家に帰ったら清潔で、心が落ち着ける部屋があるんだ。それで、帰ってからもゴミ袋が積み上げられてたら、ヒステリーを気にせずゴミの日に出す。難しいことじゃない。行動するのは簡単なんだ」

店主は呆れたような表情を浮かべた。僕がそれを無視すると、彼は腕を伸ばして会計を突き付けた。夜を無為に過ごすために色々試したが、結局は朝を迎えてイヤな思いをするだけだ。「何も期待しなくてもいい」その言葉は正しい。諦めて、現実的な対処をすればいいだけの話だった。なぜ不器用に生まれたのだろうか。シロクマも凍えるような寒さの中、道を歩いていると夜がずっと続くような気がした。



# ユースケプレゼント 新入生応援特集2017

## A デカい食堂が2つあるで!

西宮上ヶ原キャンパスには、生協の運営する大きな食堂があんねん。新学生会館地下1階にはBIGPAPA(パパ)、旧学生会館1階にはBIGMAMA(ママ)があつてな。メニューは若干違うんやけど、グラムバイキングや39セット(390円の日替わり定食)はどっちにもあるで。ママにはカウンター席もあるから、おひとりさまには便利やろな。この2つ以外やと、ボリューム感たっぷりの弁当を売ってる新学生会館1階のRobin Hood'sもええで。

新旧学生会館だけじゃなくて、H号館1階にはケンタッキーフライドチキンと松屋、G号館1階にはSUBWAYもあるで。学生向けの「関学限定メニュー」なら、お得にランチが楽しめるで。ただどこも昼休みはとにかく混むんやわ。特にパパとママへ行くのは、昼休みを避けてもええんちゃうかな。

### 番外編 Wi-Fi

学内には、Wi-Fi環境が整備されています。Wi-Fiに接続するには、利用申請が必要です。受理されれば、持ち込んだパソコンやスマートフォンでの利用が可能になります。ただし、スマートフォンなどの携帯端末で対応しているのはiOSのみ。大半のAndroidには対応していないので、ご注意ください。

## A KG Portalがオススメやで!

“KGPortal”はキミのキャンパスライフを助けるスマートフォンアプリや。こいつは関西学院大学が学生向けに作ったモノで、iOSとAndroidの両方で使えるで!このアプリを使えば自分の講義が何時からどこで行われるか、すぐに分かんねん。やから初日にキャンパスで迷って講義に遅れる…なんてことは無くなるはずや。そんで、休講や補講のような大事な情報を確認できる教学Webサービスや、大学からのメールが届く学生用のメールサービスへもすぐにアプリ経由で行けるし、時間割のほかにもシラバスやキャンパスマップ、キャンパス各所のPC利用状況といったお得な情報がいっぱいや。特にPC利用状況は大事で、キャンパス内の少ないPCを確実に使うために欠かせへんわ。初めての講義を受けるまでにはダウンロードしておくんやで。

Q お昼ご飯はどこで食べればいいの?

Q 教科書はどこで買えるの?



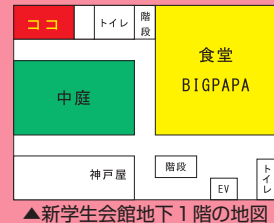
Q 関学生にオススメのアプリは?

Q 関学の便利な施設は?

## A BIGPAPAの裏やで!

西宮上ヶ原キャンパスの教科書販売の会場は、BIGPAPAと同じ新学生会館地下1階にあんねん。会場では現金はもちろん、生協が発行してるIC組合員証でも支払いができるで。IC組合員証を使うときは前もってチャージしときや。ちなみに生協で教科書を買えば、1割引になるで。あとチャペルタワーと昼休みはとにかく混むから、避けてとええ。

生協のホームページにある「教科書購入票作成システム」を使えば、教科書の購入リストが作れるんや。ちゃんと購入リストを準備してから、買いに行くんやで!



### PROFILE ユースケ

ユースケは、我々が新聞総部のイメージキャラクターである。しっぽが鉛筆になっている男の子なのだが、ネコカリスか、はたまたタヌキなのか、部内でも結論が出なかった。名前の由来は「あなた(you)を助けたい」ことから。しばらく冬眠状態であったが、新入生歓迎のためにこの度装いも新たに復活。今日から突然関西弁キャラに変更して、ゆるキャラ界での差別化を図る。なお中の人は非関西弁話者のため、関西弁には自信がない。

## A 図書館とラーニングコモンズがええで!

西宮上ヶ原キャンパスにはいろんな施設があるんやけど、新入生が知つとると役立つものを挙げるで。まずは大学図書館や。レポートから卒論まで、調べ物をするんやったら何度もお世話になるわ。PCや印刷機、コピー機も置いてるし、冷暖房完備やから講義の合間に休憩もできると至れり尽くせりな場所なんや。ただ飲食はアカンから注意するんやで。

次にラーニングコモンズや。西宮上ヶ原キャンパスにはH号館と中央講堂にある「学生の自主的な学習の場」なんやで。図書館と違って飲食できるし、講義の合間に友達と集まってゆっくりと話し合いをしてもええ。他学部の友達との待ち合わせ場所としても使えるで。PCやグループ学習のスペースの貸し出しもしてるから、ゼミでの活動や試験前の共同学習にも最適な場なんやで。

## 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

### ● 取得できる車種 ●

- 大型車・中型車・普通車(AT/MT)・
- 大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定

# 三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995  
E-mail:sanda-as@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード